

介護保険 要介護・要支援認定申請書 裏面（聞き取りシート）記入例

訪問場所

1. 被保険者住所(表面記載の住所)
 2. 入院・入所先(表面【現在の状況】に記載し
 3. その他(1. 2以外の場合) 具体的に

表面下段の【●立会人欄について】の記載を確認のうえ、記入してください。

●立会人について
 立会を希望する場合→入院入所先等で立会することが **できる・できない** ※申請前に確認してください。
 ・立会ができる場合は、表面【立会人】欄に家族の連絡先を記入し、下の施設担当者名・連絡先を記入してください。
 【施設担当者名： 連絡先： () ()】
 ・立会ができない場合・立会を希望しない場合は、表面【立会人】欄に施設担当者名、連絡先を記入してください。

本人の現在の状態

ご本人の状態について、該当する箇所にチェックをお願いします。

歩行について(室内)【できる 杖や歩行器など 車いす 車椅子
 排泄について 【できる 時々失敗がある(頻度 週4回程) 失禁
 認知症状 【なし 時々物忘れあり ひどい物忘れ
 家族構成 【独居 夫婦のみ その他同居者あり(別世帯の娘)】
 主な疾病名 【疾病名： ○○骨折 (RO年頃)・疾病名： (年頃)】

※このチェックは、申請に伴い日頃の様子を伺うためのものになります。
 認定結果については訪問調査と主治医意見書の内容により審査判定が行われますので、ご承知をお願いします。

審査の結果については、実際に認定調査員が訪問した際の調査に基づき判定されますが、申請時点の状況ではまるものにチェックをお願いします。

注意認定事項

介護認定の調査であることを本人に伝えないでほしい
 本人の前では伝えづらいことがある 【具体的に記入してください。 認知面・排泄のこと】
 調査をするのに筆談が必要
 室内に放し飼いのペットがいる 【犬・猫・その他 (匹)】 ※ペットがいる場合は
 その他(配慮すべきことや、事前に知らせておきたいことがありましたら、【内容】欄に記入してください。)

調査の際に配慮すべきことがあれば記入をお願いします。

サービス利用状況

事業対象
 要支援
 要介護

該当する段階に○をお願いします。

ケアプラン作成事業所名(ケアプランやほたいぬ) (居宅・小規模多機能・看護多機能)
 ・訪問介護(16 回/月)・訪問看護(4 回/月)・訪問リハ(回/月)・居宅療養管理指導(回/月)
 ・通所介護(デイサービス)(回) / 月・通所リハビリテーション(デイケア)(回) / 月
 ・短期入所生活介護(ショートステイ)() / 月
 ・住宅改修(有・無) (H・R) 6 年 改修内容 廊下に手すり・段差解消
 ・福祉用具(2) 品目 【(ベッド) (付属品) 車いす・付属品・手すり・歩行器・その他()】
 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 ・(看護)小規模多機能型居宅介護 月・火・水・木・金・土・日
 ・サービスは利用していない

現在利用しているサービスを記入してください。

その他

認定の結果を住民票とは違う住所に送ってほしい(別途届出書の記入が必要)
 現在の状態は安定しており調査可能
 主治医より認定の申請を勧められた
 前回の調査時と比べて身体等の状態の変化があった (改善・悪化)
 サービスの内容や体の状態について相談したいことがある(はい・いいえ)
 ※★についてチェックをした場合は【内容】欄に詳細を記入してください。

入退院直後等状態が安定しないときは適正な介護度が出ない可能性がありますので、調査ができません。
 1週間ほど期間をおいてからの調査になります。

内容

前回からの状態の変化・サービス内容や体の状態の相談・調査の際に配慮すべきことなどがあれば記入してください。

サービスを利用している場合は、ご自身が契約するケアマネジャーにご相談ください。

※申請代行者が委任状が必要な場合は下記にご記入ください。(例:別世帯の家族・表面の代行申請者2~7以外の施設等)

委任状	申請代行者住所	甲斐市篠原2610番地		私は左記のものを代理人と定め、本申請に関する権限を委任します。 被保険者氏名 甲斐 太郎 ㊞ ※本人自署の場合は押印不要です。
	氏名	甲斐 花子	続柄 子	
	連絡先	055-278-1693		

(参考)特定疾病名 ※第二号被保険者は次の特定疾病によることが認定の要件となります。
 1 がん(医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込がない状態に至ったと判断したものに限る。) 2 関節リウマチ 3 筋萎縮性側索硬化症
 4 後縦靭帯骨化症 5 骨折を伴う骨粗鬆症 6 初老期における認知症 7 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病
 8 脊髄小脳変性 9 脊柱管狭窄症 10 早老症 11 多系統萎縮症 12 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症
 13 脳血管疾患 14 閉塞性動脈硬化症 15 慢性閉塞性肺疾患 16 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症